

◆講演 1 『カーボンニュートラル実現を目指した電源構成と
原子力開発の目指す方向』
NPO 法人 ニュークリア・サロン 副代表 小竹 庄司 氏

【講演概要】

2050 年のカーボンニュートラルを実現し、電力の安定供給を確保できるエネルギーミックス（電源構成）について、幾つかの条件を想定した電力需給計算と内外の技術開発の動向を踏まえて検討した結果と、原子力開発の目指す方向について紹介する。



講師紹介

小竹 庄司（こたけ しょうじ）

1981 年大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻修了、三菱総合研究所、(財)原子力安全解析所、独・カールスルーエ原子力研究センター、(財)電力中央研究所、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構にて、軽水炉の安全解析、核融合システムの安全評価手法の開発、高速炉の安全設計及びシビアアクシデント研究、高速炉開発プロジェクトに参画。現在、日本原子力研究開発機構 高速炉サイクルプロジェクト推進室・アドバイザー兼日本原子力発電(株)高速炉開発担当、2017 年より特定 NPO 法人ニュークリアサロン副代表理事、2018 年より原子力国民会議会員。

◆講演 2 『能登半島地震と日本列島の地震ハザード評価』

東北大学災害科学国際研究所 遠田 晋次 教授

【講演概要】

今年元日に発生したマグニチュード 7.6 の能登半島地震では、奥能登を中心に家屋の倒壊、津波、斜面崩壊、液状化などが発生し、顕著な被害となった。講演では、この地震の地質学的背景、地殻変動、地震活動の概要を紹介するとともに、内陸地震を中心に地震ハザード評価の現状と課題を解説する。



講師紹介

遠田 晋次（とおだ しんじ）

1966 年宮崎県生まれ。鹿児島大学理学部卒業。東北大学大学院理学研究科前期博士課程修了。

(財)電力中央研究所、東京大学地震研究所、産業技術総合研究所活断層研究センター、京都大学防災研究所を経て 2012 年 10 月より現職。専門は地震地質学。